

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

### 事業名 外来魚生息拡大防止対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2895)

E-mail: c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,100 千円 (前年度予算額： 1,100 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,100	0	0	0	0	0	0	0	1,100
要求額	1,100	0	0	0	0	0	0	0	1,100
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和元年に揖斐川中下流部でコクチバスの生息が確認された。コクチバスは外来生物法で特定外来生物に指定されている肉食魚であり、低水温環境へ適応できることと、高い遊泳力をもつことから河川において繁殖し、アユ等の水産資源に対する食害が発生する恐れがある。また、一度定着してしまうと完全な駆除が極めて困難である。よって早期駆除を行うことが必要である。

### (2) 事業内容

- 揖斐川におけるコクチバスの効率的な駆除方法の検討
- 環境 DNA 分析による、他河川へのコクチバスの侵入状況調査

### (3) 県負担・補助率の考え方

揖斐川におけるコクチバスの被害は最低でも5つの市町、3つの漁協にまたがる広域問題である上に今後さらに県下全域に広がる恐れがあることから、県が対応する必要がある。漁協が主体となり、駆除を行い、県はコクチバスの生息状況を確認するとともに、漁協が行う駆除に同行し、効率の良い駆除方法の

検討と漁協への駆除指導を行う必要がある。

#### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	84	水産研究所と現地往復旅費
需用費	30	調査に必要な消耗品
役務費	3	通信・運送料
委託料	983	コクチバス駆除法及び生息状況の調査
合計	1,100	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画（R3～R7）

第6章 主要品目別施策

(19)淡水魚

#### (2) 国・他県の状況

特定外来生物等による被害の防止措置に対する支援（水産庁基本方針）

栃木、埼玉、長野、新潟県においてコクチバスの駆除を実施。

#### (3) 後年度の財政負担

令和4年までに効果的な駆除方法の検討と漁協への指導を行い、漁協が自力で駆除を行える体制をつくる。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

水産資源被害が発生する河川の管理責任者たる漁協が主体となり駆除活動に取り組むべきである。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 漁業主体でコクチバスの駆除を行い、令和4年までに効率的な駆除方法を確立し、漁協が自力で駆除を行える体制を作る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	— (R1)	— (R )	— (R )	— (R )	— (R)	%
	(R )	(R )	(R )	(R )	(R )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

本事業は揖斐川におけるコクチバスの生息状況確認と効率的な駆除方法を確立するもので、数値目標を設定できない。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 （今年度の取組）  
 外来魚捕獲調査業務委託事業を実施

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 （今年度の成果）  
 外来魚捕獲調査業務委託事業において、電気ショッカーボートによるコクチバスの駆除調査を実施

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	コクチバスが繁殖すると漁業被害が発生する恐れがあり、また、一度定着すると完全駆除は極めて困難であることから、速やかに駆除する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	効率的な駆除方法を確立することにより、漁協主体の駆除事業実施が可能となる。また、定着初期の段階で速やかに駆除を実施することにより、生息数、生息域の拡大を効率的に防止することができる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県内の河川における効果的な駆除方法が確立していないこと。 揖斐川以外の県内河川への生息域拡大が危惧されている。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 一度定着したコクチバスの完全駆除は困難であるため、継続して事業を実施し、県内河川における効率的かつ漁協が主体となり取り組める駆除法の確立を目指す。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--